

宿泊学習  
2組6班

事後学習



## 事前学習 第一話 さあ、仮説を立てようか

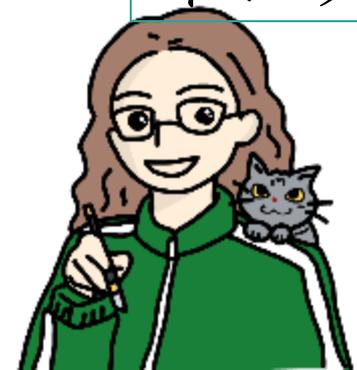
6班 〈どのような経緯で仮説を設定したか〉

小樽には石造りの道や市場などがあることから小樽ならではの文化があるのではないかと6班では考えた。

## 事前学習第二話 インタビュー相手の方向性を考えようか

インタビュー相手	場所
松田 有末	松田印刷店

6班は小樽の独自性の文化について  
インタビューすることに方向性を決めた。



## 事前学習第三話 松田有末さんのことを知ろうか

インタビューするために相手の情報をまとめることにした

〈プロフィール〉

名前	松田有未
好きなもの	お酒や猫
していること	子供食堂の運営、まちゼミ、小樽職人の会など
保有資格	一級印刷章彫刻技能士、小樽案内人一級

していることである、子供食堂やまちゼミや小樽職人の会とは具体的にどのような活動なのだろうか

## 事前学習第四話 インタビュー内容を考えよう

松田さんの情報を集めたなかで疑問に思ったことを質問にしてみた

- ① 子供食堂はなんのために大人から子供まで立ち寄れるようにした？
- ② まちゼミはなんのために個店の店主が受講者に講師をしているの？
- ③ 小樽職人の会の職業の体験で小樽の文化を味わえるものとは？
- ④ 小樽職人の会の職業以外でどんな活動をしている？
- ⑤ 子供食堂は子供たちに知らせるために何をしている？
- ⑥ 商店街の活動で最も力を入れているものは？
- ⑦ 商店街の活動は小樽の街にどのような影響を与えている？

## 2 班の仮説

### 仮説

【小樽では独自性の文化を活かし、それを伝えるために工夫しているだろう】

### 理由

テキストマイニングで小樽にまつわる言葉を班で考えた結果「**独自性の文化**」という言葉にたどり着き、小樽には石造りの道や小樽の産業を活かした市場などがあることから、小樽ならではの文化があるのではないかと思ったから

〈仮説の検証をするため訪問した場所〉

- ・ 松田印判店（インタビュー）
- ・ 中央市場
- ・ 大正硝子
- ・ オルゴール堂
- ・ 小樽運河
- ・ 水天宮

### 3 農業体験



農業体験では、えひめA I の制作体験やかぼちゃの種植え等を行いました。

エヒメA I の制作体験では、様々な菌や材料を使ってそれらを職員さんに聞きながらえひめA I を作っていました。

かぼちゃの種植え体験では、最初にカボチャの苗と種を畑に植えていました。



## 4 自主研修（漆黒のダークネスタイムの始まり

👁️) 【訪れたところ：中央市場、大将硝子、オルゴール堂、天水寺、松田印判店】

### 〈中央市場👁️)〉



小樽ならではの新鮮な魚などが売られていて、世界のお魚もにっこりの品質

### 〈大正硝子💧)〉



透明感のある美しいガラスの食器や置物が売られていて、AMAZINGでした。

### 〈オルゴール堂🎵)〉

可愛らしい音楽が流れる置物やキーホルダー、人形などが売られていて、ここだけ異世界なのかと疑うような雰囲気醸し出していました。





## 5 自主研修（昼食）

- ・ 昼食では、なんと屋にいき、なんと屋では鶏肉を中心としたメニューを提供しており他にはポテト、サラダなどの様々な料理が提供されていました。
- ・ なんと屋の店内風景はとても美しく店内が木材を使って作られていてとても素敵でした！



## 6 まとめ・仮説の検証

6班の仮説

**小樽では独自性の文化を活かし、  
それを伝えるために工夫しているだろう**

《インタビューからわかったこと》

・子ども食堂

誰でも行きやすいように子供から大人まで行くことができる明るい雰囲気をつけている。

イベントなどで出店をし、行きたいと思ってもらえるよう活動している。

## ・商店街活動

今は大きなスーパーやネットで何でも揃う時代

→専門の個々のお店で買うことで外に出る機会を作ったり、何回も行くことで地域のつながりを育む事ができる。

## ・まちゼミ小樽

プロの技を普段の生活に結びつけて少しでも興味を持ってもらえるようにする。

一般の方にプロってすごいと思ってもらえるような活動をする。

## ・小樽職人の会

小樽で職人がいることを知ってもらう。（はんこ、仏壇、キャンドル など）

お客さん→職人の技術を教えてもらえる。 職人→お客さんが興味を持ってもらえる。

↳win winな関係になれる

小学校などに行き直接職人の技術を教える。

**小樽独自の文化を活かし地域への活動を強めるために  
イベント出店などで工夫をしている**